

聖光学院管弦楽団

第29回定期演奏会



Program

チャイコフスキー：交響曲第4番へ短調 op.36

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番ニ短調 op.30

2024.3.10 sun

聖光学院ラムネホール

13:15開場 14:00開演

全席指定 一般2,000円/学生1,000円

Soloist

福間 洸太郎



Masaaki Hiraga

Conductor

田部井 剛

チケットのお申込み

全席指定とさせていただきます。
<https://teket.jp/5133/29077>

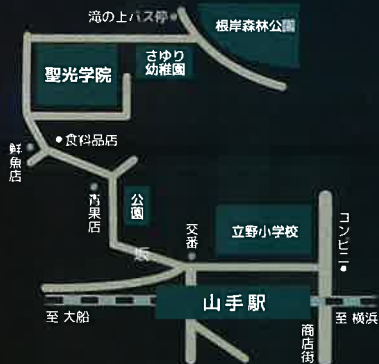


アクセス

JR根岸線山手駅より
徒歩8分

注)当校の駐車場は、原則ご利用いただけません。公共の交通機関でご来場いただきますようお願い申し上げます。

(車椅子でお越しのお客様は予めご連絡ください。)



問い合わせ

MAIL : info@seiko-phil.org

問い合わせフォーム :

<https://seiko-phil.org/inquiry.php>



田部井 剛 Tsuyoshi Tabei

早稲田大学商学部卒業。東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。1999年、芸大在学中に日本フィルにて巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・デラノワ作曲「5月の協奏曲」を協演・指揮(日本初演)。ハイドシェック氏は、田部井の読譜能力の高さ、また叙情的でリズムに溢れた演奏に対し、「ヤング・トスカニーニ」と讃えた。2003年に室内合奏団「カメラータ・ジオン」を結成、2005年にはハイドシェック夫妻との国内ツアーを成功させ話題を呼んだ。2006年にはチェコの名門ターリヒ室内管を指揮しモーツァルトの交響曲をレコーディング、2013年には伝説のチェリストと謳われるクリスティーヌ・ワレフスカ女史とドボルジャークのチェロ協奏曲を共演、氏より「偉大な才能」と高く評価された。2018年にはハイドシェック来日50周年記念ツアーを指揮し絶賛される。また、ピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシャル氏等と共演している。2020年にはカブレ編によるピアノ2台6手版ドビュッシーの「海」のCDをottava社よりリリース、レコード芸術誌特選盤となった。2009年、上毛芸術文化賞受賞。

福間 洸太郎 Kotaro Fukuma

20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。

パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーン・センター、ウィグモア・ホール、サントリーホールなどでリサイタルを開催する他、クリーヴランド管、モスクワ・フィル、イスラエル・フィル、フィンランド放送響、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラと多数共演、50曲以上のピアノ協奏曲を演奏してきた。CDは「バッハ・ピアノ・トランスクリプションズ」(ナクソス)などをはじめ多数録音しており、2023年4月21日にはNAXOS JAPANより19枚目のCD「幻想を求めて - スクリャービン&ラフマニノフ」をリリースした。そのほか、珍しいピアノ作品を取り上げる演奏会シリーズ「レア・ピアノミュージック」のプロデュースや、OTTAVA、ぶらあぼweb stationでの番組パーソナリティを務め、自身のYouTubeチャンネルでも、演奏動画、解説動画、ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。多彩なレパートリーと表現力、コンセプチュアルなプログラム、また5か国語を操り国内外で活躍中。テレビ朝日系「徹子の部屋」や「題名のない音楽会」などメディア出演も多数。第39回日本ショパン協会賞受賞。

公式サイト <https://kotarofukuma.com/>
公式ファンクラブ <https://shimmeringwater.net/>



© Roll Sz hoellkopf

聖光学院管弦楽団について

聖光学院の保護者、教員、OBなどによって結成されたオーケストラで(現役生を含まない)、年二回の定期演奏会を開催、その他本校の音楽行事などにも参加。2000年9月、高橋隆元氏を指揮者に第1回定期演奏会を開催し、以後、ピアニストの有森直樹氏、ヴァイオリニストの川畠成道氏、チェリストの藤森亮一氏、本校卒業生でピアニストの川口成彦氏と共演。2014年10月の第11回定期演奏会より田部井剛氏を指揮者に迎え、ヴァイオリニストの梅津美葉氏、漆原啓子氏、チェリストの森田啓佑氏、ピアニストの今川裕代氏、ホルニストの福川伸陽氏とも共演。2021年10月、川口成彦氏と再度の共演。2023年4月、チェリストの宮田大氏と共演。